

第39回大阪市立大学緩和医療研究会

放射線腫瘍医にできること

—緩和ケア領域における放射線療法の役割—

放射線治療はがんを治すためだけでなく症状緩和のために様々な場面で行われます。手術や化学療法などに比べ患者負担も軽微で臨機応変な対応も可能な優れた治療です。しかし万人にその有用性が知られているとは言えません。この度放射線腫瘍学教授の澁谷 景子先生にお話しいただける機会をいただきました。WEB開催ですので、いつでもどこでもお好きな時間にご覧いただけます！！
皆様のご参加をお待ちしております。

ご質問はWEB上で
回答いたします

公開期間：2020年10月1日【木】～8日【木】

場 所：大阪市立大学医学部がんプロ事務局HP内

対 象：医療従事者

【講演】

**座長 大阪市立大学医学部附属病院 緩和ケアチーム
講師 中尾 吉孝 先生**

**演者 大阪市立大学大学院医学研究科 放射線腫瘍学
教授 澁谷 景子 先生**

【参加方法】

研修への参加は参加希望1名に対し、IDとパスワードを発行した方のみご参加いただけます。参加をご希望の方は下記の応募方法で、2020年9月1日までにご応募くださいますようお願い致します。

【応募方法】下記必要事項をご記入のうえ、下記までメールにて応募ください。

①氏名 ②メールアドレス ③勤務先④職種

mail: ganpro@med.osaka-cu.ac.jp

共催

大阪市立大学医学部附属病院 緩和ケアチーム
大阪市立大学大学院医学研究科 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン運営委員会

お申込みは
こちらから

